へ13
3089
3

女郎花五色石臺第二集附言

鸚鵡能言へども飛鳥を離れず猩猩よくものいへども禽獸を離れず聲色使克似されども人異なれば自聲を離れず蓋人の適所に適て自適所に適ず蒼蠅附驥のあたり貌なる是莊周の笑ふ所佛も醒し易からざる是を無明の生醉とす文墨にも亦相似たるあり數百年の下に生れて數百年の上なる奇文を最自由に折衷して一家を做せる者東坡の所謂換骨奪胎博識ヨメオ是を克す扨其次ハ剽竊摸擬古哲の佳文を竊に取て筆に花を添るといふそれよりも猶酷しれば其世其時を同くしながら忌憚の関なりや先達新奇の大

給草書屋

豐國画
女郎花色石臺
馬琴作
己酉春
新刻
上快
上
上快下

特
へ13
3089
3

馬琴作

女郎花五色石臺
第二集上帙之二

豊國画

全四冊
己酉新板

芝神明前
甘泉堂板

筆の局を結びしもまだ結ばぬも胡椒の囫圇呑縮文してもて已が物に
做せるあり幷々利に走りて義に疎に人の好きに成るとのへども壁言ば他の
犢鼻褌をもて角觝を攬るてふ鄙言に似たる者にあらざとせんや。
とだかりにして五口も亦同じ田圃の瘦牛蒭煮たり炙たりせられぬる。
巧拙十把一縢の足をしいまだ洗ふぞ長生まれば恥ヲ見ば兒戲の冊
子もあらまぐに毫も人の足迹を踏まぬ獨酌一本生酒は嫌ひでもち
まへの甘にを上日と大人氣るくも今茲の愚作は是のみなる五色石臺
女郎花花は勿論実もありげるる第二集を綴るにあらず。

弘化五年戊申太郎月脱稿
嘉永二年酉正月吉日發板

曲亭馬琴識

執事
安房守
憲實
蝶
糧千斛や
小米苑
惟光三郎
棟利
蟻馬
小藤
志らぬ夜や
松に又見る
夜れ雪
浪花長者
三尾津久四郎

人屑を
出るや
うれ
世の
煤拂

尾野雀九郎

歹人の
穴市

張物に
足らぬ日影や
枇杷の茎

大見の
岡根

若城野綾馬

鬼河原仁蘭太
高純
降も勢ひ
見せけ倒しや
雲乃峯
岩住和四郎
東充

稲妻の
迹を見え
天の川
女行者
稲妻
八九村小萬

敵討をこゝろ
ざすこれをや
世にいふけうあく
果報とやいはん
のそのゝちのことをしるべし

「さて」をこゝに
の母のおもひにくべきあさましの
家ゝえけれど神なき日をまれ
ゐるべきうへもなくおもひとりて
義をおこそうのみなるとぶらひとれんこそ
るべきことわりのみなるとぶらひとれんこそ
ぐふむてたゝ歎かんよりほかなし
こゝろ一ぱいあるのみなれどもいろ
悪心ありのみなるねどもいろ
ゝらふもよりよりもよりこゝろ
らねそのゝされてふ甚子ふたの
人よりくりそのあくのむらこゆそ
かんなんの世ゝへぬれどものむらこゆそ
ゝまるく人ゝこの引かるりもせ父のこゝろをも
ゝまれやせんひらけうかてえふこゝろて人こゝろ
ゝちをあるゝざるゆるんひかう湯あしてこゝろ好
どもゝられてちつれぐるしこれ国軍ぐくのこゝ
るゝまゝこゝろせのかもゝまゝもまゝ
ゝれがこゝろして孝経ゝまゝ
ゝとねゝゝげてゝのまゝべるそゝゝるゝ
ゝりゝゝゝとれんゝゝろのゝゝさとゝて
これゝろゝのゝち夜ゝゝゝゝて
ゝふをゝゝゝゝ孝経ゝゝ
ゝゝゝゝ

万延辛酉新板目録

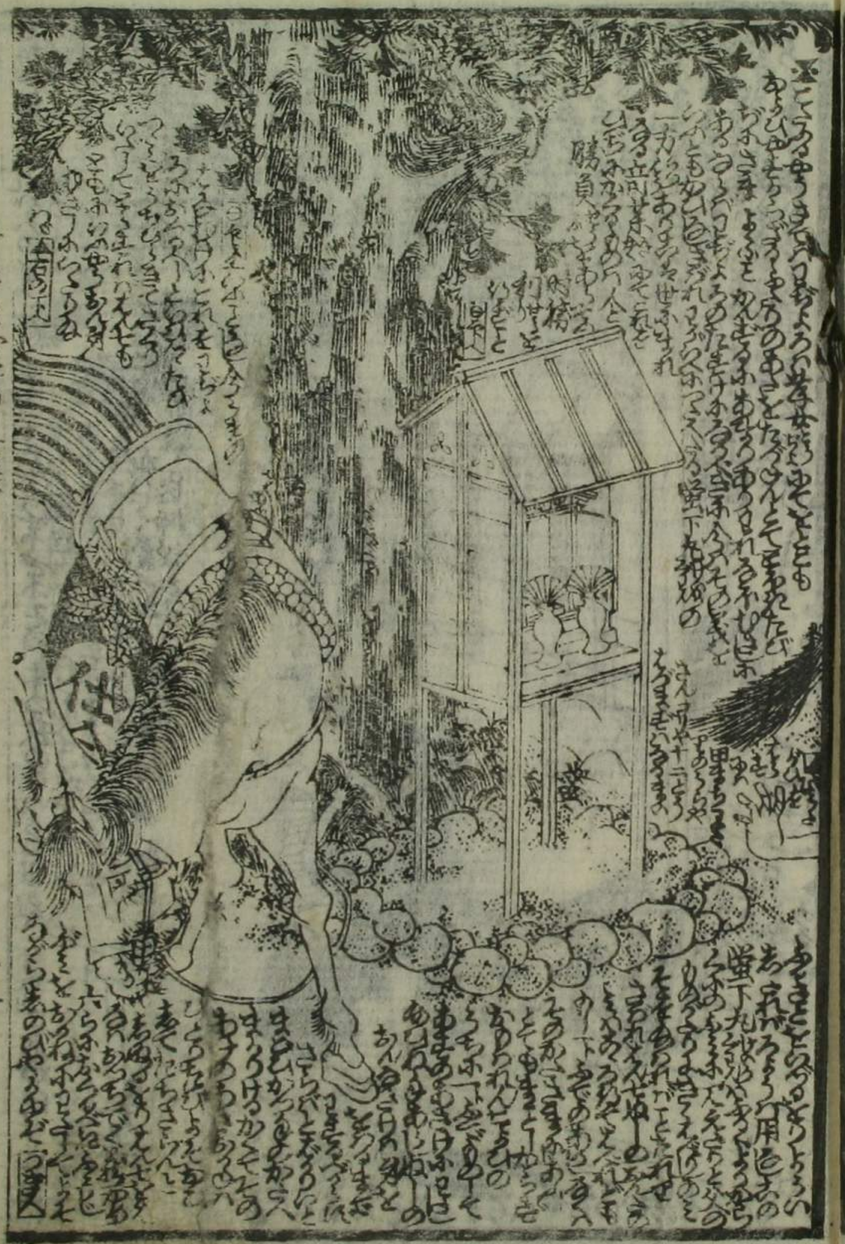
兒雷也豪傑譚 三十七編 柳下亭種員作 三十八編 三十九編 一勇齋國芳画

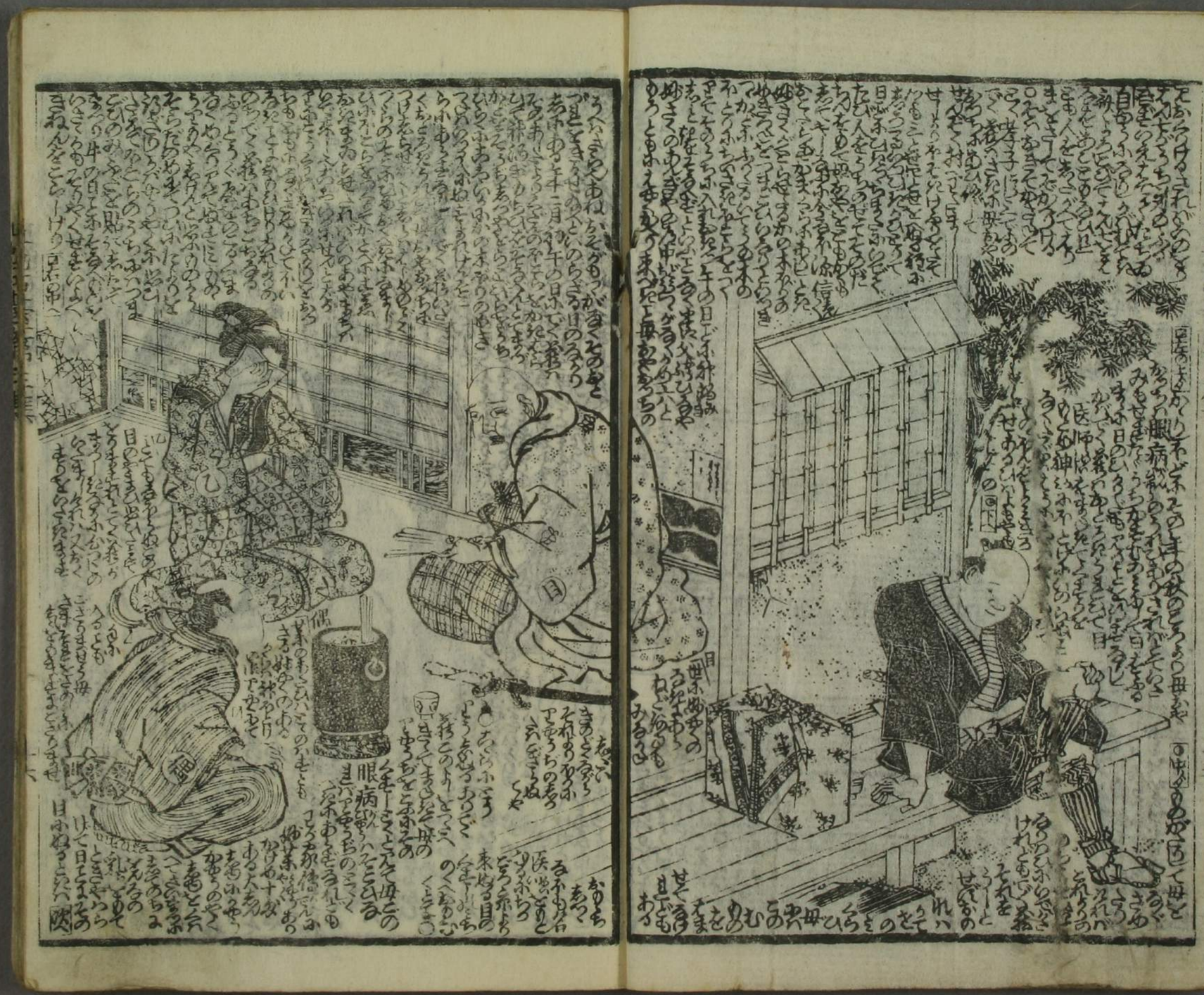
風俗淺間嶽 十編 柳水亭種清作 十一編 十二編 一勇齋國芳画

女郎花五色石臺 八編 柳下亭種員作 九編 一勇齋國芳画

不思議塚小說櫻 初編 柳水亭種清作 二編 三編 一勇齋國芳画

し
偶


仕



是より左り奥州みち
偶
徳
元
佐

馬琴作
豊國画

忠臣貞婦 伊呂波文庫 五編 六編 七編 柳煙亭種久作 一勇齋國芳畫

黄金水大盡盞 十一編 十二編 十三編 為永春水作 一勇齋國芳画

假名反古 一休さうし 十二編 十四編 十五編 柳下亭種員作 一勇齋國芳画

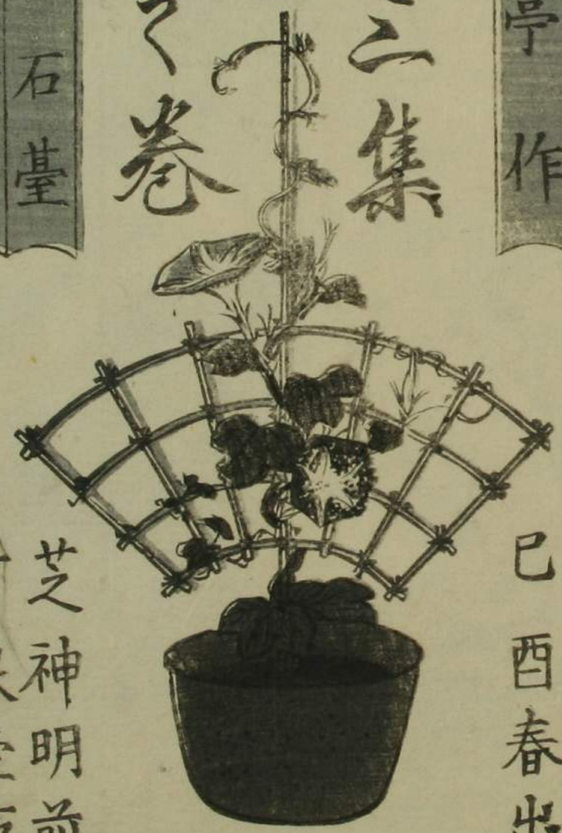
地本錦繪 芳紙問屋 甘泉堂 芝神門前 和泉屋市三郎

女郎花曲亭作

第二集

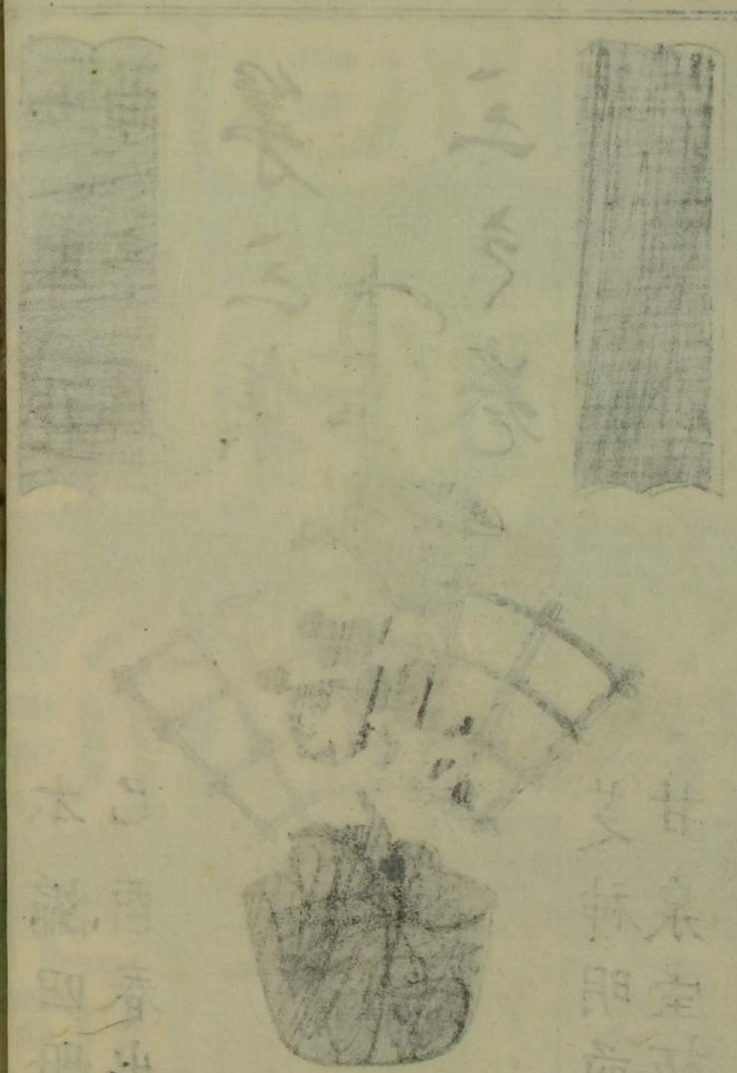
二之巻

五色石臺一陽齋画



芝神明前甘泉堂板

本編四冊已酉春出



豐國画
馬雲化
巳冨春新刻
下帙

馬琴作

五色石碁

三集之四

豊國画

芝神明前牧元和泉屋市兵衛

嘉永二年

己酉春出

木偶

万延辛酉新板目録

兒雷也豪傑譚	二十七編	柳下亭種員作	
	二十八編		
	三十九編	一勇齋國芳画	
風俗浅間嶽	十編	柳水亭種清作	
	十一編		
	十二編	一勇齋國芳画	
女郎花五色石臺	八編	柳下亭種員作	
	九編	一勇齋國芳画	
不思議塚小説櫻	初編	柳水亭種清作	
	二編		
	三編	勇齋國芳画	

偶

虎

馬琴作

豊國画

路孀代稿
淨書筆畊
谷金川

家傳神女湯
精製奇應丸
熊膽黒丸子
婦人つぎ虫の妙薬
製茶本家 四谷隱士
弘所元阪田町中坂下南側
瀧澤氏

忠臣貞婦 伊呂波文庫 五編 六編 七編 柳煙亭種久作 一勇齋國芳畫

黄金水大盡盞 十一編 十二編 十三編 爲永春水作 一勇齋國芳画

假名反古 一休さうし 十三編 十四編 十五編 柳下亭種員作 一勇齋國芳画

地本錦繪 芳紙問屋 甘泉堂 芝神明前 和泉屋市兵衛

絵草紙店

女郎花
五色
不盡
三篇
寫作
豐國
甘露